

# 元気いっぱい !!



 日本赤十字社医療センター附属乳児院  
Home for Infants, Japanese Red Cross Medical Center

〒150-0012

東京都渋谷区広尾4丁目1番1号  
Tel 03-3400-0147 (代) 03-3400-1311

<http://www.med.jrc.or.jp/nyuji-in/index.html>

## 理念

私たちは、「人道・博愛」の赤十字精神を行動の原点として、子どもの最善の利益を守り、心身ともに健やかに成長できる保育看護を提供します。

私たちは、家族に寄り添い、地域との連携をはかり、親子関係の構築を支援します。

## ～チャレンジ～

院長 今井 庸子

今回、避けて通れないのが新型コロナウイルス感染症についてのお話です。

全国に緊急事態宣言が出されたものの、感染状況にかなり地域差があり、都市部での混乱の様子に「大丈夫ですか？」と連絡を下さった地方の乳児院の方もいらっしゃいました。正直に申し上げると、大変でした。

実は、3月初旬から、同敷地内にある病院には、日毎に新型コロナウイルスの入院患者が増え、診療体制の変更も生じていました。乳児院看護師の病院派遣依頼もありました（今のところ、派遣せずに済んでいます）。その様な情報が入ってくる以上、緊急事態宣言前から、当院としても臨戦状態とならざるを得ない状況でした。

入所児の命を守るためには“ウイルスを持ち込まないこと！そのためには職員が健康であること！”を職員皆と確認し、他院よりも早い時期に厳しい感染症対策を取ることになりました。家族等の面会中止の決断は、申し訳ない気持ちいっぱいでした。お子さんと直接会えずに辛い思いをさせていただきましたが、皆様のご協力のおかげで“こんなに風邪をひかないことはない”というくらい、子ども達はとても元気に過ごしています。

怒涛の3ヶ月でしたが、当院にとっては新しい試み開始のチャンスともなりました。ご寄付でいただいたタブレット端末を利用した“オンライン面会”や“院内リモート会議”です。オンライン面会については賛否両論ありますが、子ども達はすぐに慣れそうな様子です。時代に即した新たな交流方法と考えるもよいのではないかと、個人的には思っています。そして、新たな方法である以上、問題が生ずる可能性もあり、今後も検討は必要と思っています。現在、第2波・3波が来ることを想定した上で、面会の再開をしていこうと進めています。以前とは異なるスタイルになるかもしれません。

最後に、職務上自らも感染リスクがあるという緊張の中、子ども達のために働いてくれる職員全員に感謝しつつ、今こそONE TEAMでこの局面に挑んでいきたいと思っております。





## コロナ感染対策における子ども達の生活

看護師 吉田（海）

保育者の感染対策の徹底はもちろんですが、子ども達も頑張っています。  
お散歩は看護大学までと制限していますが、テニスコートをお借りして元気いっぱい遊んでいます。  
違う部屋の子も達と一緒に空間にならない様に、遊ぶ場所も工夫しています。  
幼児部の一部の子も達は、寄付で頂いた手作りマスクを着けています。  
外で遊んだ後、お兄さん・お姉さん達は手洗いの歌を歌いながら手を洗い、小さなお友達はお手拭きで手を拭いています。皆様も、手洗い・うがいなどの感染予防を忘れずに、体調にはお気を付け下さい。



## 子どもの日

保育士 鈴木

5月4日の菖蒲湯では、湯船に菖蒲の葉が入るのを見て腰が引ける子・強張った表情で見ている子・見ただ途端に泣き出したり、手で払おうとしたり、キョトンとしている子等、色々な表情が見られました。  
5日は“こいのぼり”を模ったお稲荷さんと大きなエビフライのランチ。  
お稲荷さんをジューっと見ているだけの子・頬張りながらも良く噛んで食べる子・エビフライをペロッと1本食べておかわりする子。鎧兜の前で写真撮影もしました。  
子ども達は、日々、元気に成長しています。

## はじめまして！（新入職員の紹介）

今年も素敵な仲間が増えました！  
乳児部に看護師；2名・保育士；2名  
幼児部に保育士；3名  
調理室に管理栄養士；2名  
皆様、宜しく申し上げます。



### 編集後記

これから暑い夏を迎えます。  
熱中症に注意して“元気いっぱい”  
頑張りましょう！